

第 11 回学生生活調査結果に基づく支援・改善事項の対応状況

薬学部

調査項目	支援・改善事項	対応状況(実施結果)
健康	◎一気呑みをしない、させない。	歓送迎会の時期を前(3月初旬ごろ)に注意喚起の掲示を行った。 4月のオリエンテーションで全学年へ注意喚起を行った。 研究室単位で教員が常に心がけて指導した。
	◎麻薬・薬物使用禁止とリスク教育の徹底。	4月のオリエンテーションで全学年へ注意喚起を行った。
	・禁煙活動の推進。	ポスター等で禁煙を呼びかけた。
キャンパス全般	◎教育施設の充実。	全講義室の音声システムを改善した。 多目的室と学生実験室にプラズマディスプレイを導入した。 第1と第2講義室の全椅子にクッションを装着した。 キャンパス間および講義室間でサテライト講義を実施できるビデオ会議システム(多目的室と第2講義室)を設置した。 CBT室のPCを20台から40台に増やして一人一台にした。 図書室を設置し、分散していた図書を一カ所にまとめた。 就職支援室を設置した。
	・駐車場・駐輪場の改善。	駐輪場の通路の設備、外灯の設置を行った。
入学・修学	◎修学支援の強化。	各期末の成績不良者に対し、教務委員長が履修指導を行った。 一科目3回以上欠席した学生を一人一人教務委員長が指導した。
	・留学生対応の向上。	留学生を受け入れている研究室単位でチューターを決め、生活・修学・研究面の全てにおいて支援した。
	・語学教育の改善。	学部1年次生と修士1年次生にTOEICの試験を実施し、卒業時の目標点を設定した。 研究室単位で論文セミナー等を実施して、専門分野の英語論文に触れる機会を多くした。
学生相談体制	◎相談体制の充実および周知。	1年次の学部オリエンテーションにおいて、やってみゅーデスクの相談体制を照会した。 相談内容によってピアサポーターが適切に対応した。
	・窓口サービスの向上。	学務系職員の昼の休息時間を交替制にすることにより、昼休みの窓口業務を休まずに実施できるようにした。
	・未成熟な学生への対応。	カウンセラーと連携して修学や学生生活支援を行った。
	◎経済支援の強化。	大学院生を対象にRAやTAによる支援を継続した。 大学院生を対象に給付性の奨学金を設け付与した。
進路・就職	◎就職指導と情報提供の充実。	学部生・大学院生の就職指導を目的とした薬学フォーラムを開催した。 薬学部卒業生による就職説明会・懇談会を開催した。
	・就職支援の充実。	就職支援室を設置し、就職ガイダンス等を行った。

◎は、重点支援項目とする。